



電話機

- Cisco IP 電話 7800 シリーズ (1 ページ)
- 電話機のセットアップ (7 ページ)
- 電話機のアクティブ化とサインイン (11 ページ)
- セルフケア ポータル (13 ページ)
- ボタンとハードウェア (16 ページ)
- 電力要件 (22 ページ)
- 電話ファームウェアとアップグレード (22 ページ)
- 省電力 (23 ページ)
- 追加のヘルプと情報 (24 ページ)

Cisco IP 電話 7800 シリーズ

Cisco IP 電話 7811、7821、7841、および 7861 は、使いやすく高度にセキュアな音声通信を可能にします。

図 1: Cisco IP 電話 7800 シリーズ



次の表に、Cisco IP 電話 7800 シリーズの主な機能を示します。

表 1: Cisco IP 電話 7800 シリーズの主な機能

機能	7811	7821	7841	7861
画面	グレースケール、バックライトなし	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり
線	1	2	4	16

機能	7811	7821	7841	7861
固定機能キー	8	9	9	9

電話機はネットワークに接続され、コール制御システムに接続するように設定されている必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をどのようにセットアップしたかによって、すべての機能を使用できるかどうかが決まります。

電話機に機能を追加した場合は、一部の機能に回線ボタンが必要になります。ただし、電話機の各回線ボタンは、1つの機能（回線、短縮ダイヤル、または機能）のみをサポートできます。お使いの電話機の手元ボタンがすでに使用されている場合は、電話機にそれ以外の追加機能は表示されません。

所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)] を押して、[電話-情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

新規および変更情報

ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報

次の情報は、ファームウェアリリース 14.1(1) の新規または変更された情報です。

機能	新機能および変更情報
設定可能な遅延 PLAR	ホットライン電話で発信する
Cisco ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティのログインに対する MRA サポート	Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン (12 ページ)

ファームウェアリリース 14.0(1) の新規および変更情報

表 2: 新規および変更情報

機能	新機能および変更情報
ハントグループの機能拡張	最近の通話リスト
Cisco ヘッドセット 500 シリーズの新しいメニュー設定	ヘッドセットの呼び出し音設定の変更
ヘッドセットのアップグレードの進行状況インジケータ	Cisco IP 電話で Cisco ヘッドセットのファームウェアをアップデートする

ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェア リリース 12.8(1) で加えられた変更を示します。

表 3: ファームウェア リリース 12.8 (1) に関する Cisco IP 電話 7800 リビジョン

機能	新しいまたは変更されたコンテンツ
を使用してエクステンションモビリティのログインを簡略化します Cisco ヘッドセット 500 シリーズ	Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン (12 ページ) ヘッドセットとユーザ情報の関連付け
電話データの移行	既存の電話機を新しい電話機に置き換え (10 ページ)

ファームウェア リリース 12.7(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.7(1) で加えられた変更を示します。

表 4: ファームウェア リリース 12.7 (1) に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
キー LED と省電力の選択が更新されました。	省電力 (23 ページ) 電力節約モードのキー LED の選択をオフにする
電子フック用に更新されています。	電話機の電子フックスイッチコントロールを有効にする
コールアラートのハントグループコール用に更新されました	ハントグループ内のコールへの応答
Cisco ヘッドセット 500 シリーズファームウェアリリース 1.5 の変更	
一般的な変更	特定の状況において、ビジーの番号をダイヤルしたユーザが、再発注トーンを受信しました。このリリースでは、ユーザは話中音が聞こえます。 新規セクション 電話のアイコンを使用 (20 ページ)

ファームウェアリリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.6 (1) に加えられた変更を示します。

表 5: ファームウェアリリース 12.5(1)に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
電話機とコンピュータの間のネットワーク接続の共有についてのセクションを追加。	コンピュータとの有線ネットワーク接続の共有 (8 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR3 に対して行われた変更を示しています。

表 6: ファームウェアリリース 12.5 (1) SR3 に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
ヘッドセットリセット設定のサポートが追加されました。	お使いの電話機からシスコヘッドセットの設定をリセットする
新しいトピック	電話機のキーパッド文字 (18 ページ)
新しいトピック	コンピュータとの有線ネットワーク接続の共有 (8 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報

ファームウェアリリース12.5 (1) SR2に関するユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 は、ファームウェアリリース 12.5 (1)およびファームウェア 12.5 (1) SR1 に代わるものです。ファームウェアリリース 12.5 (1)およびファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) を優先して使用が延期されています。

ファームウェアリリース12.5 (1) SR1の新規および変更情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 に対して行われた変更を示しています。

表 7: ファームウェアリリース 12.5(1)SR1に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
アクティベーションコードオンボーディングで接続する	アクティベーションコードオンボーディングで接続する (9 ページ)

改訂	更新されたセクション
シスコヘッドセット 561 および 562 マルチベース	マルチベース付き Cisco ヘッドセット 561 および 562

ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表に、ファームウェアリリース 12.5 (1) に加えられた変更を示します。

表 8: ファームウェア リリース 12.5(1) に関する *Cisco IP* 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
Whisper Paging on Cisco Unified Communications Manager Express [英語]	インターコム コール
ヘッドセットでオーディオパスが維持できるようにハンドセットを無効にする	オーディオパスの選択
Csico ヘッドセット 561 および 562	Cisco ヘッドセット 500 シリーズ

ファームウェアリリース 12.1(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.1(1)SR1 に必要な更新はありませんでした。

ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.1 (1) で加えられた変更を示します。

表 9: *Cisco IP* 電話 7800 シリーズ ユーザガイドのファームウェア リリース 12.1(1) に関するリビジョン

改訂	更新されたセクション
Cisco Headset 531 および Cisco Headset 532 に関して更新	Cisco ヘッドセット 500 シリーズ

ファームウェアリリース 12.0(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.0(1) に必要な更新はありませんでした。

ファームウェアリリース 11.7(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 11.7(1) にはユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 に関する新しい情報および変更された情報

次の表は、ファームウェアリリース 11.5 (1) SR1 に対して行われた変更を示しています。

表 10: ファームウェアリリース 11.5(1)SR1 に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
MLPP および応答不可のサポートの更新	応答不可をオンにする 優先コール プライオリティ コールに応答する

ファームウェアリリース 11.5(1) の新規および変更情報

カスタマー エクスペリエンスを向上させるために、このユーザ ガイドは簡素化され、再構成されています。

次の表に、ファームウェアリリース 11.5 (1) に加えられた変更を示します。

表 11: ファームウェアリリース 11.5 (1) に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
電話機のアップグレードの延期に関する次のセクションを追加	電話ファームウェアとアップグレード (22 ページ)

ファームウェアリリース 11.0 の新機能

カスタマー エクスペリエンスを向上させるために、このユーザ ガイドは簡素化され、再構成されています。

次の表に、ファームウェアリリース 11.0 (1) に加えられた変更を示します。

表 12: ファームウェアリリース 11.0(1)に関する Cisco IP 電話 7800 ユーザガイドのリビジョン

改訂	更新されたセクション
Problem Report Tool のサポートに関する次のセクションが追加されました。	電話機のすべての問題を報告する (26 ページ)
cBarge と Barge に関する次のセクションが改訂されました。	の共有電話
応答不可 (DND) に関する次のセクションが改訂されました。	応答不可をオンにする

機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、管理者に連絡してください。

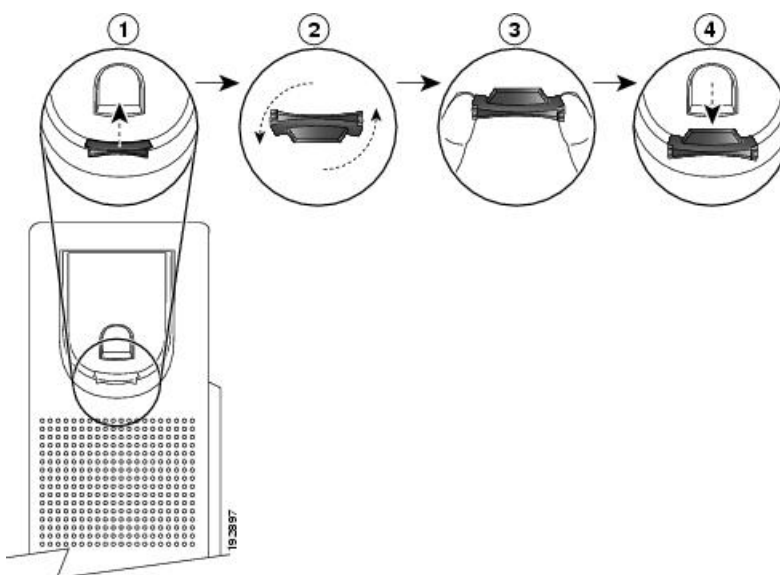
電話機のセットアップ

電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

ハンドセットレストの調整

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットレストを調整する必要があります。

図 2: ハンドセットレストの調整



手順

- ステップ 1** ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
- ステップ 2** タブを 180 度回します。
- ステップ 3** コーナーのノッチを手前に向けて、2 本の指でタブを持ちます。
- ステップ 4** タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。

ステップ5 ハンドセットを受け台に戻します。

電話機の設置角度の調整

画面が反射する場合は、電話機の角度を調節して反射を緩和できます（Cisco IP 電話 7811 を除く）。

手順

- ステップ1 電話機をネットワークから切り離します。
 - ステップ2 キーパッドが机の表面を向くように電話機を配置します。
 - ステップ3 一方の手でフットスタンドの片側を持ち、もう一方の手を電話機の上に置きます。
 - ステップ4 電話機を押さえながら、フットスタンドを持ち上げます。
 - ステップ5 フットスタンドをひっくり返します。
 - ステップ6 フットスタンドが固定されるまでフットスタンドを電話機に押し込みます。
 - ステップ7 電話機を立ててネットワークに接続します。
-

ネットワークへの接続

電話機をネットワークに接続する必要があります。

- 有線ネットワーク接続：イーサネットケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。

電話機をネットワークに接続すると、次のように電話機が設定される場合があります。

- Expressway 経由モバイルおよび Remote Access：管理者が Expressway 経由モバイルおよび Remote Access を設定していて、電話機がネットワークに接続されている場合、Expressway サーバに自動的に接続されます。

コンピュータとの有線ネットワーク接続の共有

電話機とお使いのコンピュータは、正常に機能するようにネットワークに接続する必要があります。イーサネットポートが1つしかない場合は、デバイスでネットワーク接続を共有できません。

始める前に

管理者は、使用する前に、Cisco Unified Communications Manager PC ポートを有効にする必要があります。

手順

- ステップ1 イーサネットケーブルを使用して、電話機 SW ポートを LAN に接続します。
 - ステップ2 コンピュータをイーサネット ケーブルで AP のイーサネット ポートに接続します。
-

アクティベーションコードオンボーディングで接続する

ネットワークがこの機能をサポートするように設定されている場合、アクティベーションコードオンボーディングを使用して、会社の電話ネットワークに接続することができます。

アクティベーションコードを入力する

アクティベーションコードは、新しい電話機の設定に使用されます。1回のみ使用でき、1週間後に有効期限が切れます。コードがわからない場合や新しいコードが必要な場合は、管理者に連絡してください。

手順

- ステップ1 アクティベーション画面にアクティベーションコードを入力します。
 - ステップ2 [送信] を押します。
-

Expressway への接続

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access を使用すると、オフィス外で勤務しているときでも社内ネットワークに接続できます。電話機には TFTP アドレスが設定されていないため、サインインプロセスを開始するための [ウェルカム (Welcome)] 画面が表示されます。

始める前に

これまでオフィスまたはVPNで電話機を使用してきた場合は、Expresswayに接続する前にサービスモードをリセットしてください。

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access にオンプレミスで接続する必要がある場合、電話機を再起動し、ガイダンスに従って [選択 (Select)] を押します。

手順

- ステップ1 [ウェルカム (Welcome)] 画面でアクティベーションコードまたはサービスドメインを入力し、[続行 (Continue)] を押します。
- ステップ2 ユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ3 [送信 (Submit)] を押します。

サービスモードの変更

電話機が既存のサーバに接続すると、5秒間にわたってビープ音が聞こえます。サーバモードを Huron に変更できることを示すアラートメッセージ ウィンドウも表示されます。

手順

ステップ1 サービスモードを変更するには：

- 電話機の [選択 (Select)] キーを押します。
- [設定 (Settings)] > [管理者設定 (Admin Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [サービスモード (Service Mode)] を選択します。

電話機で VPN が非アクティブ化された後、電話機が再起動します。

ステップ2 [リセット (Reset)] を押すと、サービスを Huron に変更できます。

ステップ3 既存のサービスを保持するためには、[キャンセル (Cancel)] を押します。

既存の電話機を新しい電話機に置き換え

電話機モデルを変更することができます。この変更は、次のようにいくつかの理由で必要になる場合があります。

- Cisco Unified Communications Manager (ユニファイド CM) を電話機モデルをサポートしていないソフトウェアバージョンに更新しました。
- 現在のモデルからの別の電話機モデルが必要です。
- 電話機を修理または交換する必要があります。

制限 (Limitation) : 古い電話機が新しい電話よりも多くの回線または回線ボタンを使用している場合は、新しい電話機に追加回線や回線ボタンは設定されません。

設定が完了すると、電話機が再起動します。

始める前に

管理者は、電話機の移行を Cisco Unified Communications Manager に設定する必要があります。

ネットワークに接続されていない、または未設定の新しい電話が必要です。

手順

ステップ1 古い電話機の電源をオフにします。

- ステップ2 新しい電話機の電源を入れます。
 - ステップ3 プロンプトが表示されたら、アクティベーションコードを入力します。
 - ステップ4 [既存の電話を置き換える (Replace an existing phone)] を選択します。
 - ステップ5 古い電話機のプライマリ内線番号を入力します。
 - ステップ6 古い電話機に暗証番号が割り当てられている場合は、暗証番号を入力します。
 - ステップ7 [送信] を押します。
 - ステップ8 デバイスが複数ある場合は、置き換えるデバイスを選択して [続行する (Continue)] を押します。
-

電話機のアクティブ化とサインイン

場合によっては、電話機をアクティブ化したり、電話機にサインインしたりする必要があることがあります。電話機に対してアクティブ化を一度行うことで、電話機がコール制御システムに接続されます。サインインおよびアクティブ化のクレデンシャルはシステム管理者より与えられます。

電話機へのサインイン

始める前に

ユーザ ID と PIN（暗証番号）またはパスワードを管理者から取得します。

手順

- ステップ1 [ユーザ ID (User ID)] フィールドにユーザ ID を入力します。
 - ステップ2 [PIN] または [パスワード (Password)] フィールドに PIN またはパスワードを入力して、[送信 (Submit)] を押します。
-


別の電話機からの内線へのサインイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にログインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。ログインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロフィールが適用されます。Cisco Extension Mobility サービスのセットアップは管理者が行います。

始める前に


ユーザ ID と PIN（暗証番号）を管理者から取得します。

手順

-
- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] を選択します (名前は異なる場合があります)。
 - ステップ3 ユーザー ID と PIN を入力します。
 - ステップ4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
-

別の電話機で内線からログアウトする

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] を選択します。
 - ステップ3 [はい (Yes)] を押してログアウトします。
-

Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にログインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。ログインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロフィールが適用されます。Cisco Extension Mobility サービスのセットアップは管理者が行います。

モバイルおよびリモートアクセス (MRA) ではヘッドセットサインインがサポートされています。

Cisco ヘッドセット 500 シリーズを他のユーザの電話機にプラグします。ヘッドセットは、Y ケーブルを使用してこの機能にアクセスする必要があります。

ヘッドセットがユーザ ID にマップされていない場合、最初にこの手順を実行したときに、電話機でヘッドセットを ID にマップするように求められる場合があります、それから Cisco Unified Communications Manager がヘッドセットにユーザレコードをマップします。プロンプトは、電話機の構成設定によって異なります。お使いのヘッドセットがマップされている場合、電話機はヘッドセットのシリアル番号に基づいてユーザ ID を取得し、その ID がエクステンションモビリティのサインイン画面に表示されます。



- (注) ヘッドセットがアップグレード中またはコール中の場合は、関連付けを行うことができません。アップグレードが終了するか、またはコールが終了するのを待ってからこの手順を実行します。

ヘッドセットを取り外すと、サインアウトを行わない限り、遅れて内線モビリティからサインアウトされます。

また、事前に決められたアイドル時間が経過すると、内線モビリティから自動的にサインアウトします。

始める前に

ファームウェア アップグレードは進行できません。

電話機はアイドル状態である必要があります。

手順

- ステップ 1 ヘッドセットを電話機に接続します。
- ステップ 2 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID と暗証番号を入力して、ヘッドセットをユーザ情報にマップします。
- ステップ 3 [内線モビリティ]画面で、ユーザ ID と暗証番号を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
- ステップ 4 プロンプトが表示されたら、デバイスプロファイルを選択します。
- ステップ 5 終了したら、ヘッドセットを取り外します。
- ステップ 6 [サインアウト (Sign out)] を押します。

関連トピック

[ヘッドセットとユーザ情報の関連付け](#)

セルフケア ポータル

コンピュータからアクセス可能なセルフ ケア ポータル Web サイトで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。セルフケア ポータルは、組織の Cisco Unified Communications Manager の一部です。

セルフケア ポータルにアクセスするための URL、およびユーザ ID とパスワードが管理者から通知されます。

セルフ ケア ポータルでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。

- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。
- 電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワークデータ、Webベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスを電話機で利用するには、その前にセルフケアポータルを使って電話サービスを登録する必要があります。

セルフケアポータルを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。詳細については、ご使用のコール制御システムに関するセルフケアポータルのマニュアルを参照してください。

表 13: 自己管理ポータルで利用できる機能

機能	説明
コール転送	電話で自動転送が有効になっているときに着信を受ける番号を使用します。セルフケアポータルを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップすることができます。
追加の電話機	固定電話と同じ電話番号で電話を発信/受信するために使用する、携帯電話などの追加の電話を指定します。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選好を定義することもできます。さらに、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • シングルナンバーリーチ：自分のデスクフォンに着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。 • モバイルコール：追加の電話機が携帯電話である場合、モバイルコールからデスクフォンに、またはデスクフォンのコールから携帯電話に転送されるようセットアップできます。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやく電話をかけることができます。

関連トピック

[モバイルコネクトを使用した通話](#)

[短縮ダイヤル](#)

[コールの転送](#)

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (*)
- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に2秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2つのカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金情報コードの間に1つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットシーケンスを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみても、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に[リダイヤル (Redial)]を押すと、電話機に必要な承認コード、課金情報コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は**95556543,1234,9876,,56789#** となります。

関連トピック

課金コードまたは承認コードを必要とするコール
電話機のキーパッド文字 (18 ページ)

ボタンとハードウェア

Cisco IP 電話 7800 シリーズには、さまざまなハードウェア タイプがあります。

- Cisco IP 電話 7811：画面の両側にボタンなし
- Cisco IP 電話 7821：画面の左側に 2 つのボタン
- Cisco IP 電話 7841：画面の両側に 2 つのボタン
- Cisco IP 電話 7861：画面の右側に 16 個のボタン











図 3: Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンと機能







次の表は、Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンおよびハードウェアについて説明しています。

表 14: Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンと機能

1	ハンドセットとハンドセット ライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
---	------------------------	--

2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	 : 電話回線、機能、および通話セッションにアクセスします。 詳細については、 ソフトキー 、 回線ボタン 、 機能ボタン (19 ページ) を参照してください。 Cisco IP 電話 7811 にはプログラム可能な機能ボタンや回線ボタンがありません。
3	ソフトキー ボタン	 : 機能およびサービスにアクセスします。 詳細については、 ソフトキー 、 回線ボタン 、 機能ボタン (19 ページ) を参照してください。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーションリングと 選択  ボタン。メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。
5	保留/再開、会議、および転送	保留/再開  アクティブな通話の保留、保留中の通話の再開を行います。 会議  : 電話会議を作成します。 転送  : コールを転送します。
6	スピーカフォン、ミュート、およびヘッドセット	[スピーカフォン (Speakerphone) ]: スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ミュート (Mute) ]: マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 ヘッドセット  : ヘッドセットをオンに切り替えます。ヘッドセットがオンの場合、ボタンは点灯します。ヘッドセットモードを終了するには、ハンドセットを持ち上げるか、 スピーカフォン  を選択します。 Cisco IP 電話 7811 にはヘッドセット ボタンがありません。

7	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	<p>連絡先  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications)]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。</p> <p>メッセージ  : ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします。</p>
8	音量 ボタン	 <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量（オフフック）と呼出音の音量（オンフック）を調整します。</p>

電話機のキーパッド文字

電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ (0)、アスタリスク (*)、およびシャープ (#) キーを使用します。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 15: キーパッドの特殊文字

キーパッドキー	特殊文字を使用する
1	/.@:;=?-_&%
0	(space),!^'
アスタリスク (*)	+*~`<>
シャープ (#)	#\$£□\(){}[]

ナビゲーション

ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールし、フィールド間を移動します。ナビゲーションクラスタの内側の [選択 (Select)] ボタンを使用してメニュー項目を選択します。









メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を操作する方法がいくつかあります。

- ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[その他... (More...)] ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示しています。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
 - 機能ボタン：[短縮ダイヤル (Speed dial)] や [コールピックアップ (Call pickup)] などの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。
 - 回線ボタンを使用すると、コールに応答したり、保留中のコールを再開したりできます。アクティブコールに対して使用されないときは、不在着信の表示などの電話機能を開始できます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

-  緑色、LED 点灯：アクティブ コールまたは双方向インターコム コール
-  緑色、LED 点滅：保留中のコール
-  オレンジ、LED 点灯：プライバシー機能が使用中、単方向インターコム コール機能がアクティブ、またはハント グループにログイン中
-  オレンジ、LED 点滅：着信コールまたは復帰コール
-  赤色、LED 点灯：リモート回線の使用中（共有電話または回線ステータス）または応答不可 (DND) 機能がアクティブ
-  赤色、LED 点滅：リモート回線が保留中

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハード ボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

電話画面の機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。

図 4: Cisco IP 電話 7800 の画面



以下の表では、Cisco IP 電話 の画面コンポーネントについて説明します。

表 16: Cisco IP 電話 の画面情報

1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時のほかに、さまざまなアイコンが表示されます。該当する機能がアクティブであるときに、アイコンが表示されます。
2	電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。
3	画面の最下行にはソフトキーのラベルが表示されます。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。


電話のアイコンを使用

電話画面にたくさんのアイコンが表示されます。このセクションでは、共通アイコンの画像が提供されます。



アイコンは画面に応じて、カラーまたはグレースケールで表示されます。

線




アイコン	説明
	回線/ディレクトリ番号
	短縮ダイヤル
	Intercom
	保留された通話

アイコン	説明
	アクティブコール

共有回線

アイコン	説明
	共有回線上の着信コール。
	別のユーザによってアクティブになっている共有回線。

通話履歴

アイコン	説明
	着信コール
	発信コール
	不在着信

電話画面のクリーニング

手順

電話機の画面が汚れている場合は、柔らかく乾いた布で拭いてください。

注意 電話機に対して液体や粉末を使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

通話と回線の違い

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線 およびコール という用語には、かなり独特な意味合いがあります。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。電話機の設定によっては、最大16回線持つことができます。

- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトで、電話機は1つの回線につき4つの接続コールをサポートしますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2つの回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

電力要件

Cisco IP 電話 7800 シリーズでは、次のシスコ承認の電源アダプタを使用する必要があります。

- Phihong 社製アダプタ (PSC18U-480)、定格：48 VDC 0.38 A
- Delta 社製アダプタ (EADP-18VB B)、定格：48 VDC 0.375 A

電話ファームウェアとアップグレード

電話機には、あらかじめファームウェアがインストールされています。これは、通話制御システムに固有のファームウェアです。

管理者が電話機のファームウェアをアップグレードする場合があります。新しいファームウェアを使用するためには電話機のリセットが必要になるため、このアップグレードは電話機を使用していないときに行われます。

電話機アップグレードの延期

新しいファームウェアが利用可能になると、電話機に [アップグレード準備完了 (Ready to upgrade)] ウィンドウが表示され、タイマーが 15 秒のカウントダウンを開始します。何も操作しなければ、アップグレードが続行されます。

ファームウェア アップグレードは、1 時間延期できます。延期は 11 回まで可能です。また、アップグレードは、コールを発信または着信している際にも延期されます。

手順

電話機のアップグレードを延期するには、[遅延 (Delay)] を押します。

電話機ファームウェアアップグレードの進捗状況の確認

電話ファームウェアのアップグレード中に、アップグレードの進行状況を表示できます。

手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ2 [電話の情報 (Phone information)] > [詳細の表示 (Show detail)] の順に選択します。

ステップ3 [終了 (Exit)] を押します。

省電力

管理者は、次のオプションを使用してユーザの電話機の画面で使用する電力量を減らすことができます。

- 省電力：電話機が一定時間非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。
- バックライトを管理することができます。
- Power Save Plus：勤務スケジュールに基づいて設定された時間で、電話スクリーンのオン/オフが切り替わります。勤務時間や勤務日が変更になった場合は、電話機を再設定するよう管理者に依頼してください。

たとえば、管理者は電話スクリーンをオフする 10 分前にアラートを発行するように設定できます。電話機がすぐにオフになり、次の間隔で通知を受信したことを示すメッセージが表示されます。

- 電源オフの 10 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 7 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 4 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 30 秒前に 15 回の呼出音

電話機がアクティブな場合は、電源シャットダウンの通知は電話機が非アクティブになってから設定時間が過ぎた後に実行されます。

Cisco IP 電話 7811 は省電力および Power Save Plus をサポートしていません。

関連トピック

[電話画面のバックライトの調整 \(7800 シリーズ\)](#)

電話機の電源を入れる

電話機の省エネがオフになっているときには、電話画面は空白で、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

手順

[選択 (Select)] を押して電話機を再度オンにします。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がございましたら、管理者にお問い合わせください。

Cisco ウェブサイト (<https://www.cisco.com>) には電話機と通話制御システムに関する詳細が掲載されています。

- クイックスタートガイドおよびエンドユーザガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-licensing-information-listing.html>

アクセシビリティ機能

Cisco IP 電話は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、ユーザ補助機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-technical-reference-list.html> を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:


- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

電話機に関する情報の検索

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2** [電話の情報 (Phone information)] を選択します。
 - ステップ 3** (任意) [詳細の表示 (Show detail)] を押すと、アクティブなロード情報が表示されます。
 - ステップ 4** [終了 (Exit)] を押します。
-

通話品質の問題を報告する

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立つために、管理者により一時的に、電話機に品質レポートツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

手順

-
- ステップ 1** [品質のレポート (Report quality)] を押します。
 - ステップ 2** スクロールして発生した問題に最も近い項目を選択します。
 - ステップ 3** 選択 ソフトキーを押すと、システム管理者に情報が送信されます。
-

電話機のすべての問題を報告する

Cisco Collaboration Problem Report Tool (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告できます。PRT アップロードが失敗したというメッセージが表示された場合、問題レポートが電話機に保存されるため、管理者に連絡する必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] を押します。
 - ステップ 2 [電話の情報 (Phone information)] > [レポート (Report)] を選択します。
 - ステップ 3 [問題の発生日付 (Date of problem)] および [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した日時を入力します。
 - ステップ 4 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。
 - ステップ 5 表示されるリストから説明を選択して、[送信 (Submit)] を押します。
-

電話機の接続の切断

電話機が電話のネットワークと接続していない場合があります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、一部の電話機の機能は通話制御システムからの情報を必要とするため、通常の全ての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機が通話制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供されています。<https://www.cisco.com/go/hwwarranty>